



株主のみなさまへ

# グループ事業のご報告

第120期上半期決算 2010.4.1~2010.9.30

証券コード：3407



旭化成株式会社

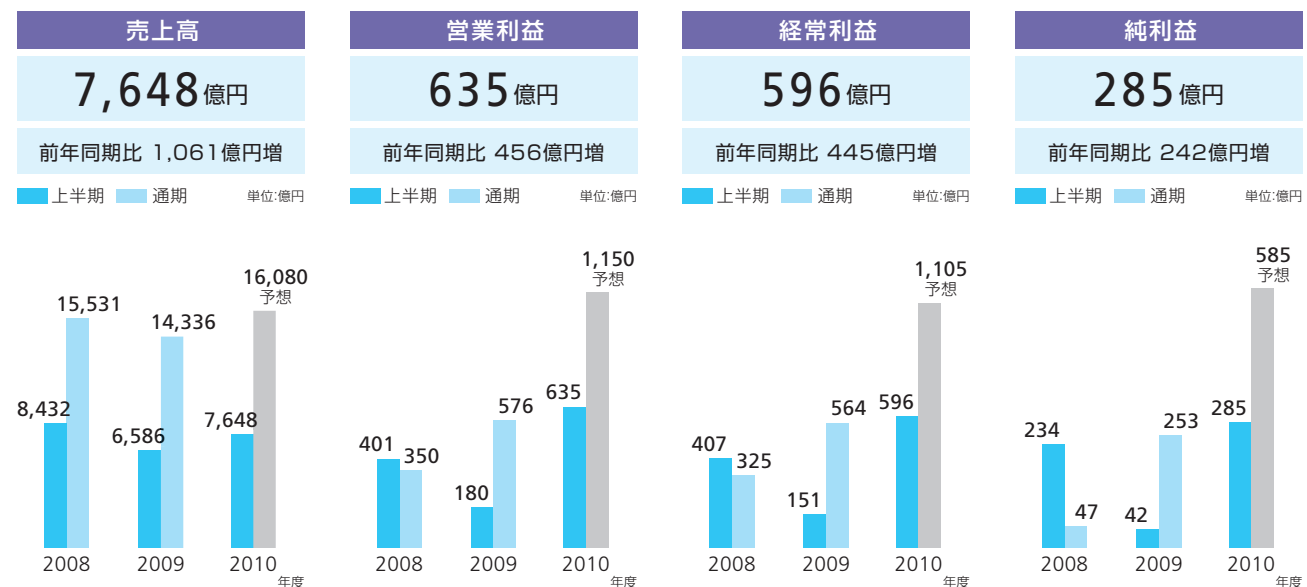
# HIGHLIGHTS

・上半期決算ハイライト

## 前年同期比、増収・増益 大幅に業績改善

当社グループの当上半期（2010年4月～9月）における連結業績は、ケミカル事業が製品市況の上昇及び海外需要の拡大に伴い業績を大幅に伸ばしたことや、住宅事業やエレクトロニクス事業も好調に推移したことなどから、売上高は7,648億円で前年同四半期連結累計期間比（以下「前年同期比」）1.061

億円（16.1%）の増収となり、営業利益は635億円で前年同期比456億円（253.6%）の増益となりました。また、経常利益は596億円で前年同期比445億円（295.2%）の増益となり、純利益は285億円で前年同期比242億円（571.0%）の増益となりました。



## 株主のみなさまへ

### ごあいさつ

“株主のみなさまへ”をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期における世界経済は、アジア地域では中国を中心とした内需の拡大を背景に堅調に推移したものの、欧州経済の信用不安の影響が広範にわたり、景気の減速が懸念されるなど、不安定な状況で推移しました。

これに伴い日本経済も、アジア地域を中心とした輸出が堅調に推移したことなどにより、景気回復の兆しが見られましたが、急激な円高や株安などの影響により企業の設備投資や個人消費は引き続き冷え込んでおり、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当上半期の当社グループの連結業績は、ケミカル事業が製品市況の上昇及び海外需要の拡大に伴い業績を大幅に伸ばしたことや、住宅事業やエレクトロニクス事業も好調に推移したことなどから、増収・増益となりました。なお、当上半期末の配当金につきましては、前年同期と同様、1株につき5円の配当を実施させていただきます。

本年度、当社グループでは、2006年からスタートした中期経営計画「Growth Action - 2010」の最終年度を迎え、昨年度見直した計画の確実な実行を図るとともに、現在、次年度からの新たな中期経営計画の策定を進めています。次期中期経営計画では、変革の時代における更なる成長を図るべく、「地球環境との共生」、「健康で快適な生活」をキーワードに、当社グループの持つ幅広い事業領域を融合させ、総合力を最大限に発揮させることにより、新しい社会の創出への貢献を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、従来と変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

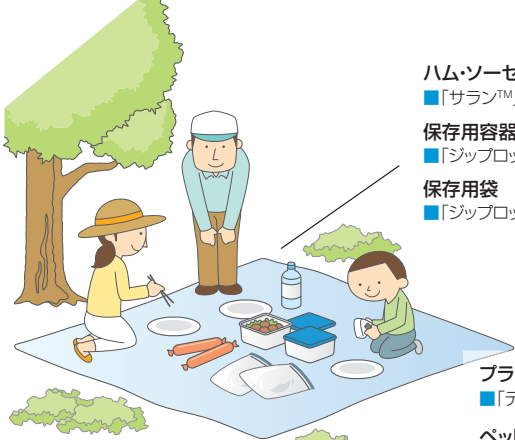
伊藤 一郎

代表取締役社長

藤子(建嗣)

2010年11月

# 旭化成の素材・製品・技術は こんなところに使われています



**ハム・ソーセージ用包装フィルム**  
■「サララ™」フィルム

**保存用容器**  
■「シップロック™」コンテナ

**保存用袋**  
■「シップロック™」バッグ

**プラスチック製ファスナー**  
■「テナック™」

**ペットボトルの外装フィルム**  
■「アサフレックス™」

**スポーツウェア**  
●「テクノファイン™」

**ガラス窓の開閉用及び  
挟み込み防止用モーター制御**  
◆ホールIC

**自動車の  
テールランプ**  
■「デルベット™」

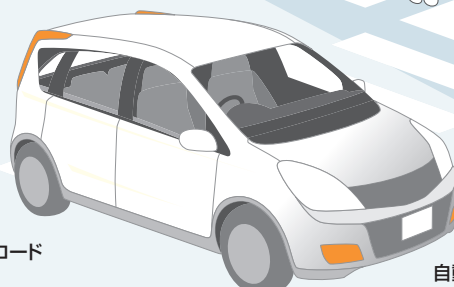
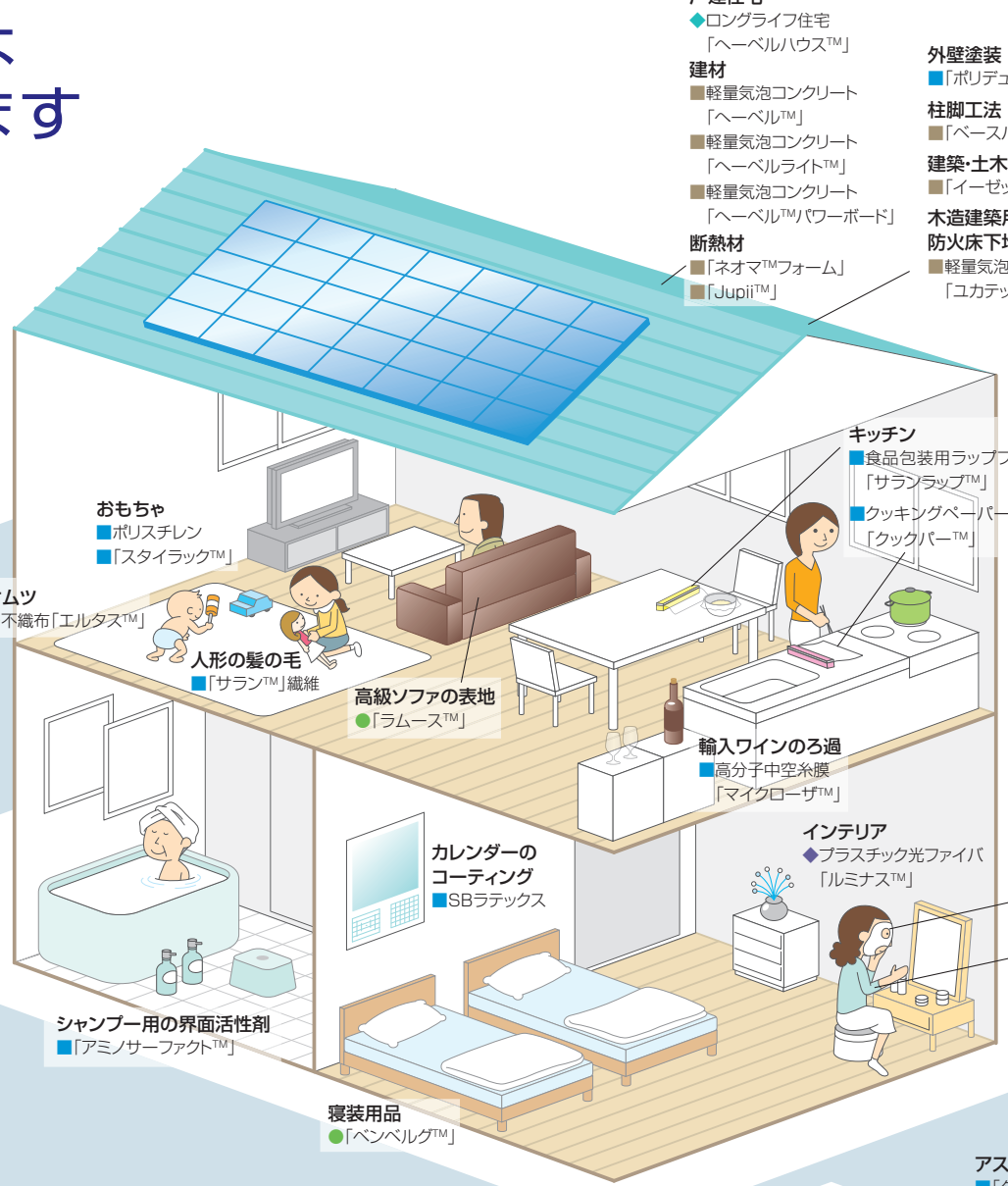
**自動車のタイヤ**  
■「タフデン™」  
■「アサブレン™」

**自動車のタイヤコード**  
●「レオナ™」繊維

**車の座席シート**  
●「ラムース™」

**カーナビ**  
◆LSI  
●音声認識ミドルウェア「VORERO™」

**自動車の部品**  
■「サイロン™」  
■「テナック™」  
■「レオナ™」樹脂

**戸建住宅**  
◆ロングライフ住宅  
「ヘーベルハウス™」

**建材**  
■軽量気泡コンクリート  
「ヘーベル™」  
■軽量気泡コンクリート  
「ヘーベルライト™」  
■軽量気泡コンクリート  
「ヘーベル™」パワーボード

**断熱材**  
■「ネオマ™」フォーム  
■「Jupii™」

**外壁塗装**  
■「ポリデュレックス™」

**柱脚工法**  
■「ベースパック™」

**建築・土木用基礎杭(パイル)**  
■「イーゼット™」

**木造建築用防音・  
防火床下地材**  
■軽量気泡コンクリート  
「ユカテック™」

**キッチン**  
■食品包装用ラップフィルム  
「サラララップ™」  
■クッキングペーパー  
「クックパー™」

**おもちゃ**  
■ポリスチレン  
■「スタイラック™」

**オムツ**  
●不織布「エルタス™」

**人形の髪の毛**  
■「サララ™」繊維

**高級ソファの表地**  
●「ラムース™」

**輸入ワインのろ過**  
■高分子中空糸膜  
「マイクローザ™」

**インテリア**  
◆プラスチック光ファイバ  
「ルミナス™」

**カレンダーの  
コーティング**  
■SBラテックス

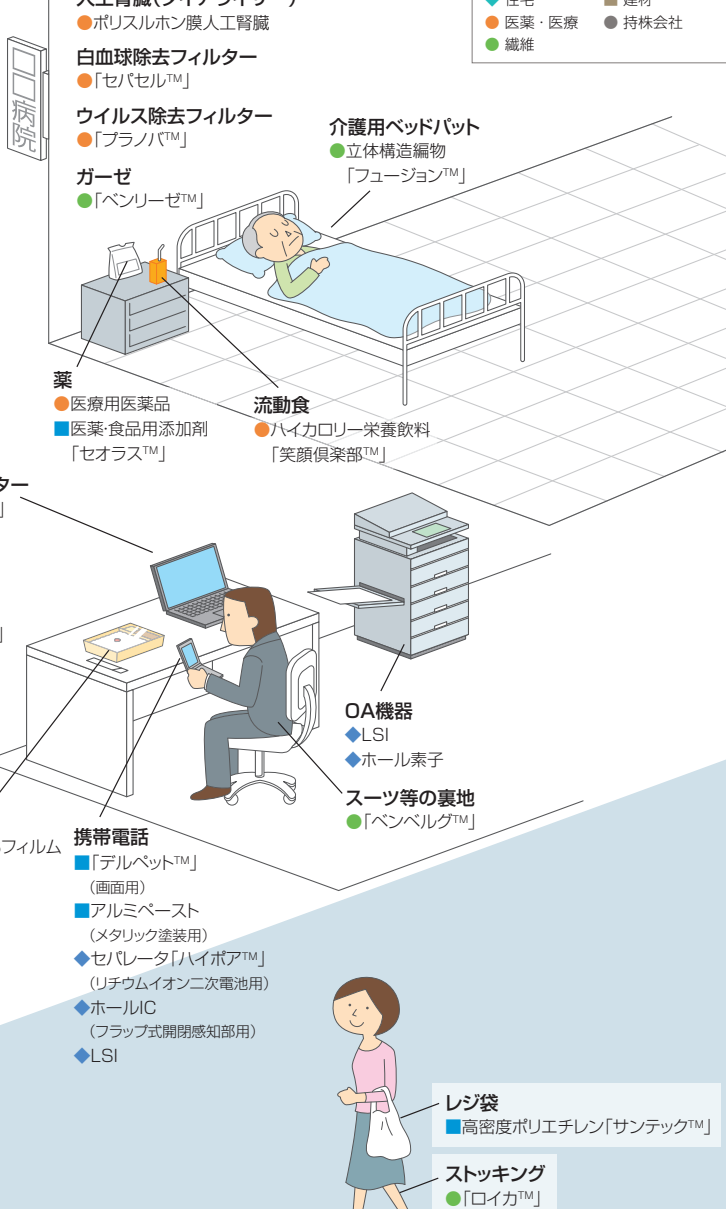
**シャンプー用の界面活性剤**  
■「アミノサーファクト™」

**寝装用品**  
●「ベンベルグ™」

**フェイスマスク**  
●「ベンリーゼ™」

**インナーウェア**  
●「ベンベルグ™」  
●「ロイカ™」

**アスファルト改質剤**  
■「タフブレン™」



**人工腎臓(ダイアライザー)**  
●ポリスルホン膜人工腎臓

**白血球除去フィルター**  
●「セパセル™」

**ウイルス除去フィルター**  
●「プラノバ™」

**ガーゼ**  
●「ベンリーゼ™」

**介護用ベッドパット**  
●立体構造編物  
「フュージョン™」

**薬**  
●医療用医薬品  
■医薬・食品用添加剤  
「セオラス™」

**流動食**  
●ハイカロリー栄養飲料  
「笑顔倶楽部™」

**パソコン・プリンター**  
■「スタイラック™」  
■ポリスチレン  
■「ザイロン™」  
■「テナック™」  
◆LSI  
◆「サンフォート™」  
◆ベリクル  
◆「パイメル™」  
◆FPコイル  
◆ガラス繊維織物

**OA機器**  
◆LSI  
◆ホール素子

**スーツ等の裏地**  
●「ベンベルグ™」

**市販のお弁当**  
■「サンテック™」Sフィルム  
(外装フィルム用)

**携帯電話**  
■「デルベット™」  
(画面用)  
■アルミペースト  
(メタリック塗装用)  
◆セパレータ「ハイボア™」  
(リチウムイオン二次電池用)  
◆ホールIC  
(フラップ式開閉感知部用)  
◆LSI

**レジ袋**  
■高密度ポリエチレン「サンテック™」

**ストッキング**  
●「ロイカ™」

■ケミカル ◆エレクトロニクス  
◆住宅 ■建材  
●医薬・医療 ●株式会社  
●繊維

事業活動の状況をお知らせします。

旭化成株式会社  
旭化成グループ事業会社



**旭化成ケミカルズ株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3200  
社長 坂本 正樹 資本金 30億円

(主な営業品目)

**ケミカル セグメント**

石化・モノマー系(無機工業薬品、アクリロニトリル、スチレンモノマー、アジピン酸、MMAモノマー・樹脂など)、ポリマー系(スチレン系樹脂「スタイラック™」、ポリアセタール樹脂「テナック™」、変性PPE樹脂「ザイロン™」、ナイロン66樹脂「レオナ™」、ポリエチレン「サンテック™」、合成ゴムなど)、高付加価値系(塗料原料、医薬・食品用添加剤「セオラス™」、火薬類、高分子中空糸膜「マイクロザ™」、イオン交換膜法電解装置、「サランラップ™」、「ジップロック™」、各種フィルム・シート、発泡体など)



**旭化成ホームズ株式会社**  
〒160-8345 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル  
Tel. 03-3344-7111  
社長 平居 正仁 資本金 32億5千万円

**住宅 セグメント**

「ヘーベルハウス™」、「ヘーベルメゾン™」、マンション事業、都市開発事業、リフォーム事業、不動産事業、金融事業など



**旭化成ファーマ株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3600  
社長 浅野 敏雄 資本金 30億円

**医薬・医療 セグメント**

医薬品(「エルシトニン™」、「フリバス™」、「トレドミン™」、「リコモジュリン™」、「ファムビル™」など)、診断薬、診断薬酵素など



**旭化成クラレメディカル株式会社**  
**旭化成メディカル株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3750  
社長 吉田 安幸  
資本金 旭化成クラレメディカル 8億円  
旭化成メディカル 2億円

**医薬・医療 セグメント**

**旭化成クラレメディカル株式会社**  
ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」、吸着型血液浄化器「セルソーパー™」など

**旭化成メディカル株式会社**

ウイルス除去フィルター「プラノバ™」、白血球除去フィルター「セパセル™」など



**旭化成せいい株式会社**  
〒530-8205 大阪府大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル  
Tel. 06-7636-3500  
社長 高井 秀文 資本金 30億円

**繊維 セグメント**

ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」、スパンボン「エルタス™」・人工皮革「ラムース™」などの不織布、ナイロン66 繊維「レオナ™」など



**旭化成エレクトロニクス株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3911  
社長 小堀 秀毅 資本金 30億円

**エレクトロニクス セグメント**

ミックストシングルLSI、ホール素子、ホールIC、電子コンパス、ファイン・パターン・コイルなど



**旭化成イーテリアルズ株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3939  
社長 鴻巣 誠 資本金 30億円

**エレクトロニクス セグメント**

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」、フォトマスク防塵保護膜ベリクル、プラスチック光ファイバ、拡散板、フレキシ印刷用感光性樹脂製版システム「APR™」、エポキシ樹脂、感光性ポリイミド樹脂「バイメルト™」、感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」、プリント基板用ガラスクロスなど



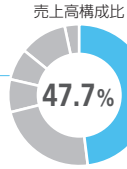
**旭化成建材株式会社**  
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング  
Tel. 03-3296-3500  
社長 小林 宏史 資本金 30億円

**建材 セグメント**

軽量気泡コンクリート(ALC) (「ヘーベル™」など)、パイラ(「イーゼット™」など)、高性能断熱材「ネオマ™フォーム」、鉄骨造構造用資材(「ベースバック™」など)など

CHEMICALS

ケミカル (セグメント)



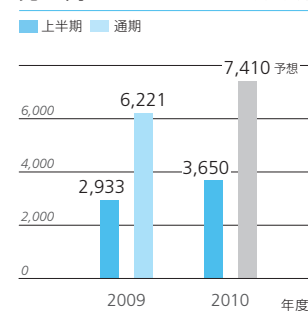
売上高 **3,650**億円 (前年同期比 24.4%増)

営業利益 **373**億円 (前年同期比 224.9%増)

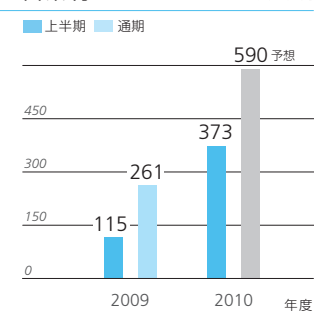
売上高は3,650億円で、前年同期比717億円(24.4%)の増収となり、営業利益は373億円で、前年同期比258億円(224.9%)の増益となりました。

「ケミカル」セグメントは、石化・モノマー系事業では、プラントの定期修理の影響があったものの、アクリロニトリルやアジピン酸などの海外市況が大幅に上昇し、交易条件が改善しました。また、ポリマー系事業では、自動車や家電用途の需要回復により販売数量が増加し、プラントの稼働率も改善しました。さらに、高付加価値系事業では、「サランラップ™」などの消費材の販売が好調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

売上高 単位:億円

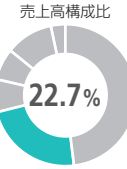


営業利益 単位:億円



HOMES

住宅 (セグメント)



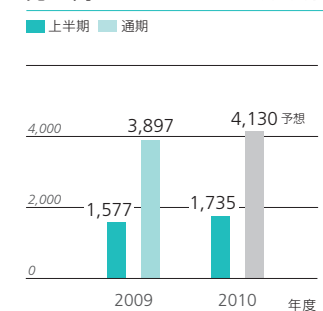
売上高 **1,735**億円 (前年同期比 10.0%増)

営業利益 **101**億円 (前年同期比 144.2%増)

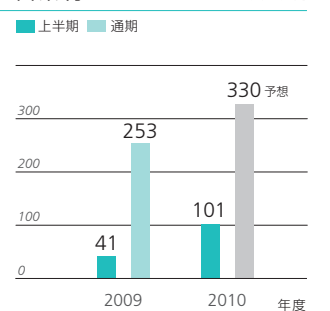
売上高は1,735億円で、前年同期比158億円(10.0%)の増収となり、営業利益は101億円で、前年同期比60億円(144.2%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は1,817億円で、前年同期比272億円の増加となりました。

「住宅」セグメントは、建築請負・分譲事業では、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が順調に回復したことや、コストダウンに努めたことなどにより、業績を伸ばしました。また、不動産事業などの住宅周辺事業が堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

売上高 単位:億円



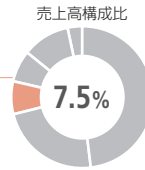
営業利益 単位:億円



事業活動の状況をお知らせします。

## HEALTH CARE

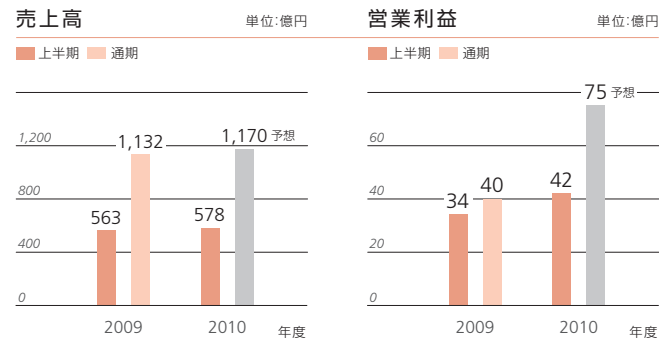
医薬・医療〈セグメント〉



売上高	<b>578億円</b>	(前年同期比 2.5%増)
営業利益	<b>42億円</b>	(前年同期比 22.8%増)

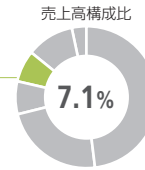
売上高は578億円で、前年同期比14億円(2.5%)の増収となり、営業利益は42億円で、前年同期比8億円(22.8%)の増益となりました。

「医薬・医療」セグメントは、医薬事業では、血液凝固阻剤「リコモジュリン™」が業績を大幅に伸ばし、薬価改定の影響を受けた排尿障害改善剤「フリバス™」なども販売数量が増加しました。また、医療事業では、各製品が円高の影響を強く受けたことに加え、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売が低調に推移したものの、ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」やアフエレス（血液浄化）関連製品の販売数量が増加しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。



## FIBERS

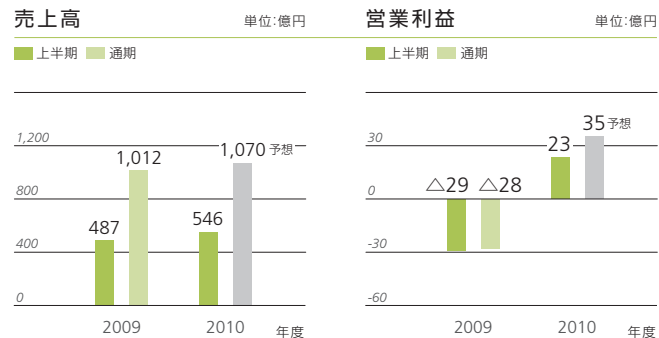
繊維〈セグメント〉



売上高	<b>546億円</b>	(前年同期比 12.1%増)
営業利益	<b>23億円</b>	

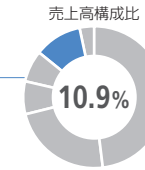
売上高は546億円で、前年同期比59億円(12.1%)の増収となり、営業利益は23億円で、前年同期比52億円の増益となりました。

「繊維」セグメントは、円高や原燃料価格高騰の影響を受けたものの、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」が国内外で大幅に販売数量を伸ばしたことや、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」やナイロン66繊維「レオナ™」、スパンボンドなどの不織布事業も好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。



## ELECTRONICS

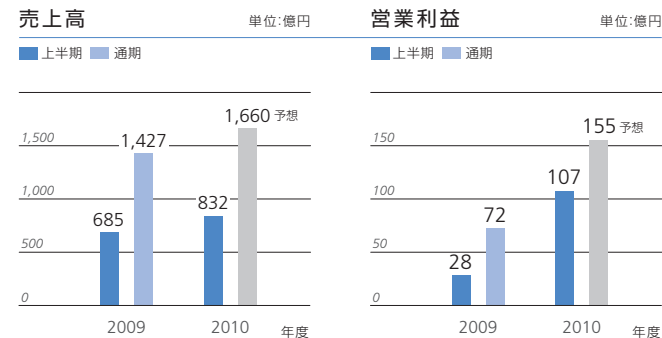
エレクトロニクス〈セグメント〉



売上高	<b>832億円</b>	(前年同期比 21.4%増)
営業利益	<b>107億円</b>	(前年同期比 278.2%増)

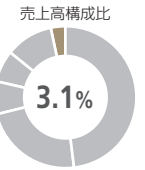
売上高は832億円で、前年同期比146億円(21.4%)の増収となり、営業利益は107億円で、前年同期比79億円(278.2%)の増益となりました。

「エレクトロニクス」セグメントは、電子部品系事業では、携帯電話やスマートフォン向けLSIの販売数量が大幅に増加しました。また、電子材料系事業においては、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」の販売数量が増加したことに加え、海外における半導体や電子機器の市況回復に伴い、感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」や感光性ポリイミド樹脂「パイメル™」などの販売数量も増加しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。



## CONSTRUCTION MATERIALS

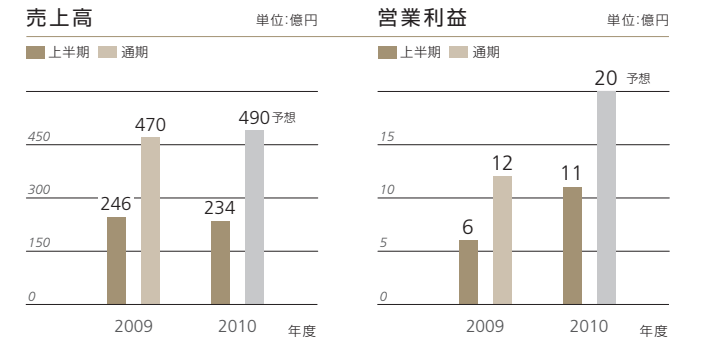
建材〈セグメント〉



売上高	<b>234億円</b>	(前年同期比 4.7%減)
営業利益	<b>11億円</b>	(前年同期比 88.9%増)

売上高は234億円で、前年同期比12億円(4.7%)の減収となりましたが、営業利益は11億円で、前年同期比5億円(88.9%)の増益となりました。

「建材」セグメントは、建築着工数の低迷により、軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」が非住宅向けを中心に販売数量を大幅に減少させた一方、非建築分野への需要開拓が進んでいる中小型パイル工法「EAZET™」や「ATTコラム™」、省エネ政策の追い風を受けた高性能断熱材「ネオマ™フォーム」などが販売数量を伸ばすとともに、コストダウンに努めたことなどから、セグメント全体では減収・増益となりました。



＜その他＞売上高構成比 1%  
売上高は74億円で、前年同期比22億円(22.8%)の減収となり、営業利益は8億円で、前年同期比3億円(24.6%)の減益となりました。

\*「その他」の区分は、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントであり、プラントエンジニアリング、環境エンジニアリング、各種リサーチ・情報提供事業及び人材派遣・紹介事業等を含んでいます。

## CHEMICALS

ケミカル  
〈セグメント〉

### シンガポールで合成ゴム 新プラントの建設を決定

旭化成ケミカルズでは、本年10月に、シンガポールにおいてS-SBR（溶液重合法スチレンブタジエンゴム）の新プラントの建設を決定しました。近年、環境規制の強化や環境意識の高まりを背景に、世界的に省燃費型高性能タイヤの需要が拡大しています。これに伴い、タイヤの安全性能を確保しつつ省燃費性能を向上させるS-SBRも省燃費型高性能タイヤに最適な材料として需要が急速に拡大していることから、需要の拡大と顧客のニーズに応えた供給体制の拡充を図るため、今回の新プラント建設の決定に至りました。



自動車タイヤ

## HOMES

住宅  
〈セグメント〉

### 都市における住ソフト 提案型商品を次々に発売

旭化成ホームズでは、くらしノベーション研究所による都市における住まい方研究の成果に基づき、住ソフト提案型商品を次々に発売しました。本年4月、新二世帯住宅「i\_co\_i」（イコイ）を上市し、「孫共育」をキーワードに親世帯・子世帯が互いに独立しながら交流と協力を促し、暮らしを楽しみ積極的同居を提案しました。続いて7月には、家族の住み継ぎを想定した新たな賃貸併用二世帯住宅「RONDO」（ロンド）、8月には、家族が自然に集う居心地の良いリビング空間を提案する「F.lower living（フラワーリビング）のある家」を発売しました。



「ハーベルハウス™ i\_co\_i」  
プロトタイプ外観

## HEALTH CARE

医薬・医療  
〈セグメント〉

### 新アフェレシス工場の竣工

旭化成クラレメディカルでは、グローバル成長が見込めるアフェレシス（血液浄化）治療用製品の生産体制強化を図るために、大分県大分市の工場内に分散している生産設備を集約・近代化した新アフェレシス工場を本年9月に竣工し、生産を開始しました。同社は、世界のトップメーカーとして信頼される品質と供給責任を果たすとともに、アフェレシス治療分野のバイオニアとして、従来の治療法では困難とされる免疫疾患や難病治療に新たな可能性を追求し、アフェレシス事業のグローバル成長を加速していきます。



新アフェレシス工場外観

## FIBERS

繊維  
〈セグメント〉

### ノイズ抑制シート 「バルシャット™」の販売開始

旭化成せいは、本年8月より、高性能ノイズ抑制シート「バルシャット™」の販売を開始しました。近年、デジタル家電や電子機器内で発生するノイズ（不要な電磁波）対策が、機器の小型化・高性能化を進める上でますます重要となっています。同社の開発した「バルシャット™」は、同社の独自技術による特殊不織布「プレシゼ™」を使用したノイズ抑制シートであり、薄く軽量でありながら広い周波数域のノイズに対応可能で、かつ高いノイズ抑制効果が得られます。今後、幅広い電子機器での採用拡大が期待されています。



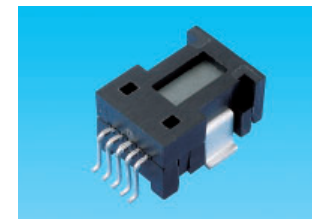
高性能ノイズ抑制シート  
「バルシャット™」

## ELECTRONICS

エレクトロニクス  
〈セグメント〉

### 世界初\*の表面実装型 電流センサーを開発

旭化成エレクトロニクスは、コア付き電流センサーとしては世界初、世界最小クラスとなる表面実装型の電流センサーを開発しました。電流センサーは、主に産業機械の制御用途で使用されていますが、小型化により様々な場所での電流検出が可能になります。これにより、スマートグリッドやスマートハウスなどで要望される家電製品の常時電力モニターが容易にできるようになるほか、エアコンなどの省エネ家電機器の電流制御を従来よりも高精度・高効率で行うことができ、更なる省エネに貢献することが可能となります。



世界初\*の表面実装型電流センサー  
（\*当社調べ）

## CONSTRUCTION MATERIALS

建材  
〈セグメント〉

### 木造住宅床専用断熱材 「Jupii™」の販売開始

旭化成建材では、本年10月に、木造住宅用の床専用断熱材「Jupii™」（ジュピー）の販売を開始しました。昨今、長期優良住宅や住宅エコポイントなどの優遇策により、住宅にはより高性能な断熱材が求められています。これに対応するため同社では、世界最高クラスの断熱性能と充填施工性を両立させた床充填専用の高性能断熱材「Jupii™」を開発しました。「Jupii™」であれば、従来からの一般的な木造住宅の床の仕様をそのまま変更することなく、省エネ住宅に対応\*した高い断熱性能を実現します。今後同社では、「Jupii™」を住宅用断熱材事業の新たな柱の1つとして位置づけ、販売を強化していきます。

\*北海道、北東北地区を除く



木造住宅床専用断熱材「Jupii™」

POINT

当上半期末の総資産は、有形固定資産が125億円、投資有価証券が143億円減少したものの、受取手形及び売掛金が235億円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が254億円増加したことなどから、前連結会計年度末（以下「前年度末」）に比べて287億円増加し、1兆3,976億円となりました。有利子負債は、コマーシャル・ペーパーが20億円増加した一方で、長期借入金の返済を70億円行ったことなどから、前年度末に比べて43億円減少し、2,603億円となりました。純資産は、配当金の支払70億円、その他有価証券評価差額金の減少77億円、為替換算調整勘定の減少66億円があったものの、四半期純利益による増加285億円があったことなどから、前年度末に比べて83億円増加し、6,530億円となりました。この結果、自己資本比率は45.9%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加241億円、たな卸資産の増加238億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益464億円、減価償却費409億円などの収入があったことから、493億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出329億円、無形固定資産の取得による支出21億円があったことなどから、374億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額70億円、長期借入金の返済による支出70億円などがあった一方で、コマーシャル・ペーパーの増加による収入20億円があったことなどから、119億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算の悪化による減少額21億円、連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額9億円があったことから、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より12億円減少し、919億円となりました。

連結貸借対照表（要旨）

単位：億円

科目	当上半期 2010年9月30日現在	前 期 2010年3月31日現在	前上半期 2009年9月30日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	7,143	6,604	6,528
固定資産	6,834	7,085	7,223
有形固定資産	4,350	4,475	4,561
無形固定資産	321	347	392
投資その他の資産	2,163	2,263	2,270
<b>資産合計</b>	<b>13,976</b>	<b>13,689</b>	<b>13,751</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	4,706	4,348	4,742
固定負債	2,740	2,894	2,774
<b>負債合計</b>	<b>7,446</b>	<b>7,242</b>	<b>7,516</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,346	6,129	5,989
資本金	1,034	1,034	1,034
資本剰余金	794	794	794
利益剰余金	4,539	4,321	4,181
自己株式	△ 20	△ 20	△ 20
評価・換算差額等	62	205	172
少数株主持分	122	113	74
<b>純資産合計</b>	<b>6,530</b>	<b>6,447</b>	<b>6,234</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,976</b>	<b>13,689</b>	<b>13,751</b>

連結損益計算書（要旨）

単位：億円

科目	当上半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前上半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日	前 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	7,648	6,586	14,336
売上原価	5,633	5,075	11,007
売上総利益	2,015	1,511	3,329
販売費及び一般管理費	1,380	1,331	2,753
<b>営業利益</b>	<b>635</b>	<b>180</b>	<b>576</b>
営業外収益	45	33	79
営業外費用	85	62	91
<b>経常利益</b>	<b>596</b>	<b>151</b>	<b>564</b>
特別利益	0	1	69
特別損失	132	47	172
<b>税金等調整前純利益</b>	<b>464</b>	<b>105</b>	<b>461</b>
法人税等	169	64	205
少数株主損益	損 10	益 1	損 3
<b>純利益</b>	<b>285</b>	<b>42</b>	<b>253</b>

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：億円

科目	当上半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日	前上半期 2009年4月1日～ 2009年9月30日	前 期 2009年4月1日～ 2010年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	493	526	1,693
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 374	△ 537	△ 1,002
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 119	△ 260	△ 751
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 21	6	6
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	△ 21	△ 265	△ 53
現金及び現金同等物の 期首残高	931	981	981
連結範囲の変更に伴う 増減額	9	4	4
現金及び現金同等物の 上半期末（期末）残高	919	720	931

会社概要

商号	旭化成株式会社 (Asahi Kasei Corporation)
設立年月日	1931年5月21日
資本金	103,388,521,767円
主要事業	繊維、化学、住宅、建材、エレクトロニクス、 医薬・医療等の事業を行う会社の株式保有及びその 事業活動の管理等
東京本社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目 105番地 神保町三井ビルディング 電話 (03) 3296-3000
大阪本社 (本店)	〒530-8205 大阪市北区中之島三丁目 3番23号 中之島ダイビル 電話 (06) 7636-3111
連結対象子会社	102社
持分法適用会社	48社
URL	http://www.asahi-kasei.co.jp/

役員

代表取締役会長	伊藤 一郎	常勤監査役	土屋 友二
代表取締役社長	藤原 健嗣	常勤監査役	中前 憲二
社長執行役員		社外監査役	手塚 一男
取締役常務執行役員	稲田 勉	社外監査役	青木 雄二
取締役常務執行役員	藤原 孝二	常務執行役員	亀井 啓次
取締役常務執行役員	水野 雄氏	常務執行役員	山添 勝彦
取締役常務執行役員	水永 正憲	上席執行役員	松居 龍
社外取締役	瀬戸 雄三	上席執行役員	角南 俊克
社外取締役	児玉 幸治	上席執行役員	柴田 豊
社外取締役	池田 守男	上席執行役員	根井伸一朗
		執行役員	鴻巣 誠
		執行役員	坂本 正樹
		執行役員	吉田 安幸
		執行役員	平居 正仁
		執行役員	米田 晴幸

株式の状況

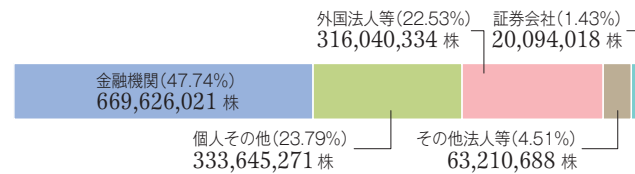
発行可能株式総数	4,000,000,000 株
発行済株式の総数	1,402,616,332 株
株主数	128,309 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	94,019	6.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	82,428	5.89
日本生命保険相互会社	73,000	5.22
旭化成グループ従業員持株会	44,753	3.20
株式会社三井住友銀行	35,404	2.53
東京海上日動火災保険株式会社	29,286	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	21,250	1.52
株式会社みずほコーポレート銀行	20,269	1.45
住友生命保険相互会社	19,517	1.40
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	19,432	1.39

(注)当社への持株比率については、自己株式(4,270,839株)を除いて算出しています。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



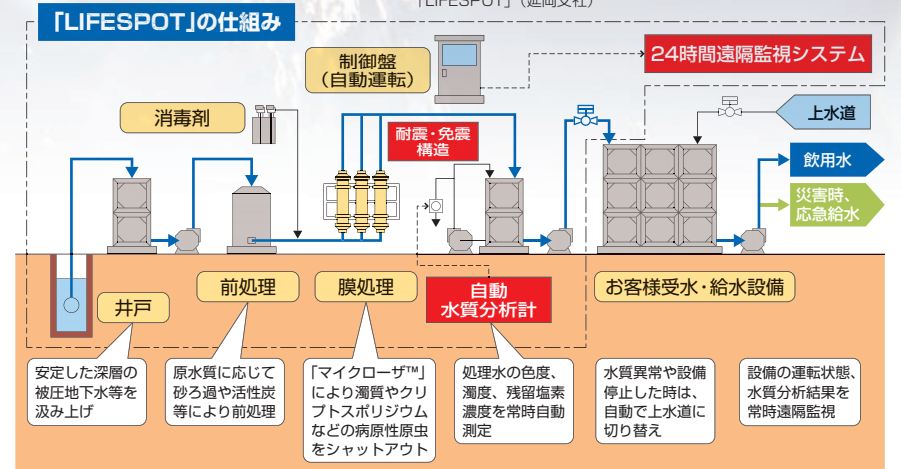
災害時に飲料水を提供  
地下水飲料化システム「LIFESPOT」

「LIFESPOT」は、旭化成ケミカルズ株式会社が設計、施工、運転、管理まで行う飲料水供給システムです。地下水や河川水を、同社の高分子中空糸膜「マイクロザ™」等で飲料水用に高度浄化する、地震でも壊れにくい設計を施した設備です。

日常的には、旭化成グループの事業場内へクリーンな水を供給しますが、大規模災害が発生し、ライフラインの1つである公共上水道が途絶した場合には、事業場内の事業復興を支えるだけでなく、市と連携し、地域住民の方々へ飲料水・生活用水を提供します。



浄水装置や水質自動分析装置を内蔵したコンテナユニット「LIFESPOT」(延岡支社)



自治体・自治会と連携した災害時の地域貢献を目指しています。



旭化成グループでは、守山(滋賀県)、鈴鹿(三重県)、延岡(宮崎県)の生産地区に「LIFESPOT」を設置し、それぞれ守山市、鈴鹿市、延岡市との間に「災害時における飲料水等の供給に関する協定」を締結しています。また、自治体と自治会の協力を得て、市職員や近隣住民の皆様に参加していただく応急給水訓練を実施しています。今後もこれらの取り組みを積極的に展開し、地域防災に貢献します。



## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月下旬開催		
1単元の株式の数	1,000株		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めたり		
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号		
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/koukoku/index.html">http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/koukoku/index.html</a>		

## ■ 株式に関するお手続きについて

各お手続きのお問い合わせ先は以下のとおりとなっております。

お手続きの内容	証券会社の口座をご利用の株式についてのお問い合わせ先	特別口座(*)に記録された株式についてのお問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住所、姓名などのご変更</li> <li>● 配当金の受領方法のご変更</li> <li>● 単元未満株式の買取、買増請求</li> <li>● 特別口座から証券口座への振替請求</li> </ul>	お取引証券会社	特別口座の口座管理機関 〔住友信託銀行株式会社(証券代行部)〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支払期間経過後の配当金支払</li> <li>● その他のお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿管理人 〔住友信託銀行株式会社(証券代行部)〕	

(※)株券電子化移行時点で株式会社証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、法令に従い、名義人名で住友信託銀行株式会社に開設いたしました特別口座にて管理されております。特別口座で管理されている株式は、一般口座にお振替いただくことができます。

### 【住友信託銀行株式会社 証券代行部】

郵便物の送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

電話照会先 ☎0120-176-417(平日午前9時から午後5時)

インターネットホームページURL <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

### 【配当金受領方法変更をご希望の株主様へ】

受取りには下記の4つの方法がございます。安全、確実にお受け取りいただくために、口座振込の利用をお奨めいたします。(詳細は上記お問い合わせ先にご確認ください。)

- 登録配当金受領口座方式  
(全保有銘柄の配当金を、指定された同一の金融機関口座に振込)
- 株式数比例配分方式  
(お取引証券口座への振込)  
注. 当方式を採用している証券口座のみをご利用の株主様に限ります。
- 個別銘柄指定方式  
(株式の銘柄ごとに、指定された各金融機関口座に振込)
- 配当金領収証方式  
(ゆうちょ銀行・郵便局の窓口で現金を受領)

### 【単元未満株式(1~999株)をご所有の株主様へ】

ご所有の株式の買取りの請求、または買増しの請求をしていただくことができます。なお、単元未満株式が特別口座で管理されている場合、手数料は無料です。(証券会社で管理されている場合の手数料は、お取引証券会社にお問い合わせください。)

- 買取請求  
ご所有の単元未満株式を、市場価格で買取る請求をしていただく制度です。  
(→ご所有の単元未満株式を売却いただくことです。)
- 買増請求  
ご所有の単元未満株式が単元株(1,000株)になるために必要な株式数を、市場価格で買増す請求をしていただく制度です。  
(→買増し後は、単元株式をご所有いただくこととなります。)

## 旭化成株式会社

〒530-8205 大阪市北区中之島三丁目3番23号 中之島ダイビル

<http://www.asahi-kasei.co.jp/>

